



答えは 世界ではなく、日本人の心の中にあつた。 青春リハビリテーション 加藤 博 (Hiroshi Kato) 特定医療法人 宮古第一病院 CEO

世界ではなく、日本人の心の中にあつた。



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など国家資格を持ったリハビリスタッフ多数。モットーは「明るく、爽やか、慈愛、そして懐の深さと大きさ」



内科、消化器科、リハビリテーション科、眼科、歯科、療養病棟72床、回復期リハビリテーション76床(全148床)



西病棟 東病棟

和と助け合いの心「大和心」を中心にすれば、スポーツも、経営も、国政も素晴らしいものになっていく。

まれなかつたが、フットボール団体では見事銀メダルを獲得。この他にも、アーチェリー女子団体、水泳、バレーボール、卓球、サッカー等、チームスポーツの躍進が目立つ大会だった。加藤先生自身、そうお考えのようだ。

「今回の大震災の時あの極限状態の中、被災者の方々は少ない物資を分け合ってお互いに助け合い、肉親を亡くした方や行方不明の方々も多い中、今にも崩れ落ちるような心をお互いに支えあつて、何とか生き抜こうとする姿は、日本人の人々のみならず世界中の人々に少なからず感動を与えたはずです。日本人はたゞ一入ひとり力の力がそれほど強くない場合でも、和になつてお互いに助け合い、いつでも最高の力を発揮します。それはスポーツだけではなく、政治や経営にも当てはまります。この和の力を最大限に発揮するには、弱肉強食、競争や対立、我よしの心ではなく、和と助け合いの心「大和心」が絶対に必要になるのです。」とさらに言葉に力を込めるのでした。「大和心」を育てるためには何よりも明るく前向きであり、さわやかでこだわりなく、自分のことだけを考へず、他の人々にに対する感謝と慈愛の心を忘れず、そして他の人々に対する懐の深さと大きさが必要だと続けた。

「私の考える理想的な社会とは、見たりや能力や権力や財力ではなく、モラル(徳)の高い人ばかりの立場にいくような社会です。自分の上司や先輩が自分より、常に明るくさわやかで慈愛に満ち、懐が深く大きければ、誰だって人間関係で悩むことも無いし、毎日働くのが楽しくて仕方なくなるでしょ

う」と嬉しそうに話す。

宮古第一病院を訪れた方は、病院内に貼られたこんな言葉に気づくだろう。「明るく、さわやか、慈愛、そして懐の深さと大きさ。このモットーを毎日眺めながら働く病院職員たちは、そのモットーにふさわしく働いて、明るくさわやかで元気がい。そして加藤先生はこんな言葉で締めくくった。「大和心」が浸透して組織は末広がりに良くなっていく。どこかで立ち行かなくなるといふことはないのです。そのことを世界の人々に身を以て示すことができるのはほんの日本人であり、それがその日本の真の役割、真の国際協力ではないでしょうか。」と信念を持って話す。

「そんな願いを込めて、「明るく、さわやか、慈愛、そして懐の深さと大きさ」というモットーのもと、この「青春リハビリテーション」という明るく前向きでさわやかな言葉、特許庁から21年3月13日に特許取得済「ヒトマソング」である「ありがとう」という感謝と慈愛の言葉で始まる「ソラ」の優しく強く「を」を岩手を中心に日本全国の方々に少しでも知って頂ければ思つておられます。国民県民の皆様、まことに至りませぬ私ではございますが、今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど宜しく御願ひ申し上げます」と締めくくった。

すでに、「青春リハビリテーション」を掲げ、リハビリテーションのトモすれば後ろ向きになりがちなイメージを一変させた宮古第一病院。今後は「大和心」で経営の常識を変えぬのかもしれない。宮古第一病院の挑戦はまだ続いている。

岩手を、東北を、日本をひとつにする希望の歌
青春リハビリテーション テーマソング
テレビラジオで
放送中! 『優しく強く 心のままに』
nosola ノソラ

宮古第一病院 検索
ノソラ 検索

WWW.nosola.com

パンダレコード・イオン盛岡南店
さわや書店 本店・フェザン店
サンビル1階 丸丸
藤沢体育堂 大田店
リリオ5階 大湯商店街事務局
東京池袋 東武百貨店 OD ショップ5番街



「大和心」の持つ意味をわかりやすく説明してくれた。「例えば、日本の経営はグローバルスタンダードや、能力主義、合理主義だけでやっていると、いずれ立ち行かなくなり、より競争力を高めるため、過重労働やリストラ、低コスト化のための仕入れ先や下請け企業への圧迫、企業買収、工場の海外移転などに至ります。

国家レベルでも弱肉強食や自国の目先の利益や利権だけを考えた「金だけ、自分だけ」の我よしのやり方では、最初は経済が高度成長して暮らしむきも豊かになったように見えますが、いずれは立ち行かなくなり、次第に不景気になり失業者が増え、しまいに不景気の名の上での戦争や経済的・軍事的侵略、実質的な植民地支配などを陰で画策する国まで出てきます」と悲しげな表情を見せる。

「実際、欧米諸国がリードしてきた資本主義、貨幣経済、競争社会は自由主義経済を発展させましたが、その一方でグローバルスタンダードという美辞麗句のもと、格差社会、支配する側とされる側という2極化を生み出し、近年世界の人々の心は加速度的に荒廃してきているようにも思えます。今だけ、金だけ、自分だけ」といった弱肉強食の物質偏重のやり方は世界各地でいつまでもたつても紛争が絶えません。現在の民主主義も、もし各々の国民が国がよくなることよりも「金だけ、自分だけ」といった、我よしの考えだけで政治家を選ぶようになれば、当然選ばれた政治家も我よしの考えになります。現在の官僚や政治家のレベルそのものは、良くも悪くも我々国民のモラルが反映されたものに他なりません」と熱く語る。

「このように、その原点到日本古来の和と助け合いの心がない場合は、弱肉強食や我よし主義はもろろんのこと、自由競争、資本主義、貨幣経済、能力主義、合理主義、国際化、グローバルスタンダード、T P P など、現在どちらかと言うともはややられている考え方でさえ、実際はその通りにやっていると、意外なことには他人々を、周囲の誰かを、他の企業を、他の国を踏み台にしない限り、いずれ立ち行かなくなるものなのです。

しかし、和と助け合いの心「大和心」を中心に据えてやっていると、最初はパッと見なくても未だかなり良くなり、いずれ共存共栄の弥栄(いやさか)の状態にいたります。そして私なり」に考え、到達した答えが日本古来の和と助け合いの心「大和心」を重視した経営手法です。大和心とは全てを包み込む心、自分や家族と同じように他を愛する、今のこと、これを実践していくことが、今求められる経営だと確信しています」と力強く語る。

確かに、今回のオリンピックを振り返ってみると、「大和心」を実感させられる場面が多くあつた。例えばフェンシング。個人戦ではメダリストは生